

新潟県

公民館月報

昭和50年11月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番堀通町・県教育庁社会教育課分室内】

【電話・(新潟) ☎ 6111 内線 326】 【振替新潟 4094】

発行人 会長 石井耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 50円 年額 600円】

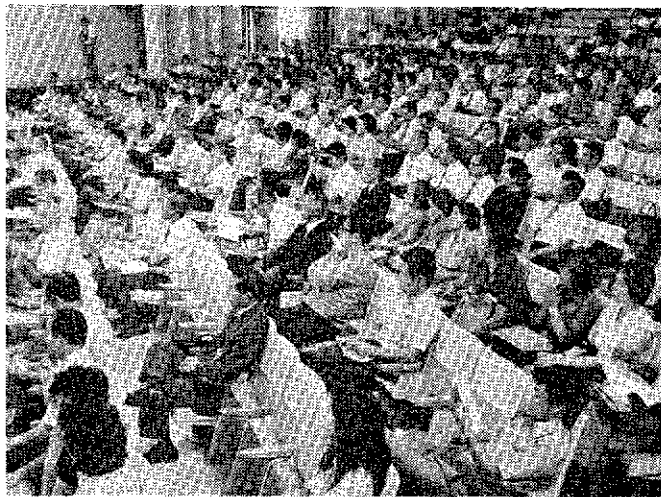
空手

四つのまなこが燃え
 生きている互いの前に
 勝負の的はひとつ
 それに向って
 思い切つて奮いたち
 空拳をもって必殺の技を
 なすときの自我
 敵に対して自らを守ると
 いうよりも
 まず生きの身の本能的反
 射がそれを決する
 互いの生か死かはすぐそ
 の先

諸制度改善へ決議

関公連(千葉)大会終わる

さる九月十七日から三日間、千葉県第一回は恒例の開会行事の
 第十六回関東甲信越静大会が千葉 あと公民館の現代的役割」と題
 泉本津市市民会館で開催され、東武学芸大学助教授小林文入
 た。参加者は十都県約三百名。本氏による基調講演。第二日は七
 果から石井会長以下八名が参 部会に分かれての部会討議。第三
 期、それぞれ行・財政、組織、少 日目に部会報告のあと「公民館経
 年教育、青年教育、成人教育、高 営の具体策」と題し駒沢大学教授
 令者教育、同和教育の各部会に分 中井俊教氏による記念講演があっ
 散し、活発な討議に加わった。 た。最後に全体討議の結果、別稿



木更津市民会館に参集した関東甲信越静勢

大会決議

われわれは、現下の社会情勢が、これまでのようなかたちでの経済
 繁栄を追求することが不可能になり、政治、経済はいうまでもなく、
 文化、教育にまで厳しくみつめ直すことが迫られていることを痛感す
 る。

今こそわれわれは人間の主体性とよろこびをとりもどし、生き生き
 とした社会をつくるために生涯教育を推進する公民館の使命がきわめ
 て重要であることを再確認した。

しかしながら公民館活動の現状は、必ずしも満足すべき状況ではな
 く、緊急に解決を迫られている課題が山積している。

これらの課題解決に、われわれ自らがその推進力となることを誓う
 とともに、関係当局に対し特に緊急かつ重要な次の事項を速やかに実
 現するよう措置されることを強く要望し決議する。

決議

1. 公民館施設費国庫補助金の定率化と公民館建設のため起債の大中増額を図ること。
2. 公民館を教育機関として確立するための諸制度を改善し、職員の増員及び待遇改善を図ること。
3. 地方交付税における公民館単位費用の算定基準を改善し、その大中増額を図ること。
4. 公民館振興市町村長連盟都道府県支部の設立を促進し、自治体における公民館振興諸施策の拡充強化を図ること。

昭和50年9月19日

第16回関東甲信越静今民館大会

公民館のバッジ
 全国公民館関係者の共通の
 シンボルマークとしてデザイ
 ンされた「公民館バッジ」を
 頒布します。
 ・赤銅製、直径一・二cm、円
 形。中央シンボルマークと
 縁どりは純金はり。止め金
 はタイ・タック式(ネクタイ
 イレインにもなる様式)
 ・一個 六〇〇円(送料共)
 ・申込先 関公連事務局

新潟県社会教育講師紹介資料
 プロフィール
 ・項目一 顔写真 氏名
 ・現職住所電話・社会
 教育関係の経歴・現在
 の活動(著書等を含
 む) 専門領域等
 ・実費一 部二〇〇円
 送料共
 ◎申込先一 新潟市一 番
 堀通第二分館新潟県社
 会教育協会

バラエティに富んだ品ぞろえ

亀田製菓

亀田のあられ

おせんべい

米菓の総合メーカー

SKK 亀田製菓株式会社

本社・工場/新潟県亀田町元町1の3の5 TEL(0253)82-2111(内)
 支店・営業所/東京・大阪・名古屋・札幌・福岡・仙台・静岡・長野・
 金沢・広島・鹿児島



心のる人々
の間で夫々

アメリカで「情報発見」とい
う新語が生まれたときま
た、建国二百年の記念の年を来
年にひかえアメリカは、情報



関公連大会 行財政部会記録から

1. 教育委員会と公民館との関係について

- 教育委員会事務局の事務と公民館の関係について、社教法5条、22条、社会教育局長通知(昭46)による分担であり、住民を対象とする事業については公民館が直接責任をもって実施し、社会教育課は条件整備、連絡調整等の事務を任務分担すべきである。
- 教育委員会の組織機構における公民館の位置づけは極めて、不明確な場合が多いが、教育委員会の職務権限のうち、事務局と教育機関の任務分担をするという法律の内容をシビアに反映させたいものだ。社会教育課の下に公民館をおくなどは問題外である。
- 職員体制の整備により当然の結果として、館長等の権限が確立せねばならないに未だその整備がなされていない面があるが、館長が常勤化すると実態として権限がでて、それを規制化しなければならないことになる。
- 〔助言〕行政機関と教育機関は、性格と目的が異なり上下はない。いかに社会教育の目的を達成するために、双方が任務の分担を行なうかの問題であり、そこから独自性や協調が生まれる。

2. 専任館長、主事の充実、専門性の問題

- 職員の組織体制について
5~6人もの職員があるところ、1~2人でがんばっている公民館に差があり問題もことなる。
- 公民館に二係設置した場合に、事業職員と管理職員の意識の差が問題となる。
- 公民館事業担当者の中に、係長などの職階制をもちこむことは疑問がある。
- 一般行政職採用で公民館に配置される例が多く、簡単に市長部局との人事交流を行なうと専門性を確保しにくい。
- 兼務館長、非常勤館長等が次第に専任館長となる市町村がふえ、努力がみられる。



行財政部会で意見を述べる石井会長

3. 当面する公民館の悩みについて

(1) 社教法23条の問題

政党、宗教団体に対する貸出しについての各館の実態が出され、合せてお花のけいこまで月謝をとるなどの点が営利にあたるなども検討された。政党には貸出しを許可している市町村が多く、その理由としては、公民館は積極的にすべての人に開放すべきである。あるいは疑問をもちつつも、他に利用できる施設がないのか、学校の講堂より公民館の方がむしろ自然であるなどの理由があげられた。

また、教育基本法の政治教育、憲法の集会結社の自由を保障する一環として貸しているという積極論もあった。

- 原則として貸し出しするのは問題であり、貸すとしても他にできる施設がない場合にかぎるとの消極論もあった。
- 自治会集会で特定の候補者を推せんする場合等もあり、政党だけの問題として考えてよいか、内容吟味の必要も強調された。

行動原型と地域社会

内山 弘夫

の時間や、思考力や、判断力を
取戻そうとする動きを見せはじ
めたとききました。丁度日本
とは異なつた要因ではあつたで
しょうが、失つてつあるコミュニ
ティそれは健全な民主主義
の母体への回帰の願ひをこめて
位置する標榜掲揚されてから

の時間や、思考力や、判断力を
取戻そうとする動きを見せはじ
めたとききました。丁度日本
とは異なつた要因ではあつたで
しょうが、失つてつあるコミュニ
ティそれは健全な民主主義
の母体への回帰の願ひをこめて
位置する標榜掲揚されてから

の時間や、思考力や、判断力を
取戻そうとする動きを見せはじ
めたとききました。丁度日本
とは異なつた要因ではあつたで
しょうが、失つてつあるコミュニ
ティそれは健全な民主主義
の母体への回帰の願ひをこめて
位置する標榜掲揚されてから

に再考する必要のあることもよ
く知られてゐるところです。
マス・コムを通じて如何に私
たちの社会が広がつてもそれは
あくまで社会的なものです。
私たちが社会生活をする限りそ
の行動原型を形造るのに最初
で、そして決定的な影響を与え
てゐる場所は face to face の直
接接触の地域社会です。
そこに生れ育ち、そこから得
たものを大事にしなから、生活
技術としての一般化を図って行
くことを考える時だと思ひま
す。

社会教育活動が一般化に流れ
て地域社会のよき伝統を見失う
ことのない様子を。 (長岡
市社会教育委員会)

〔助言〕禁止するのは問題で、公民館の設置目的とてらし、その地域の实情に即して対応できる職員の専門性も重要であり、また、公民館運営審議会、公民館利用者懇談会において討論させるのも必要だ。

- 貸出しがまず、公平であるか、公平をつらぬけるか、使用内容で具体的検討などを原則的に考える必要があるが、主催事業や社教関係団体の利用を阻害しないようにしたい。公民館は教育を目的とした公の施設であり、市民会館や公会堂とは異なる。大変困難だが常識による判断も必要である。

(2) 職員の勤務条件 (開閉時間との関連)

この問題は公民館の設置目的を發揮するための公民館のあり方(公民館 規則でできる)と職員の勤務態様(職員の勤務に関する規程)との問題である。夜間、日曜日に臨時職員をあてる公民館。管理委託をするところ、職員の時間外によつてゐるところとあり、あるいは月曜日を休館とし職員も休日としているところなど、工夫しているが、それぞれに問題点もかかえている。

公民館規則、勤務に関する規程、職員手当等にわたり規則が整備されたが、現実には職員が少ないため、勤務の割振りの規程が運用されないというなやみもだされた。

〔助言〕職員体制、勤務条件のぎりぎりの線があるので、単純に市民の利用のみを優先させられないものである。また、勤務時間内において、社会教育活動をできるような世の中をつくることも必要だ。

あの頃のこと

特攻隊メモ ②

眠れぬ英霊のために

浅間 勝 衛

お前は戦死したのだ

佐々木伍長は、昭和十九年十一月十二日から同年十二月十六日までの間に七回出撃している。そのうち、六回は天候不良や離陸不能などで攻撃を失敗しているが、十一月五日には、レイテ湾で大轟撃一撃を撃ち落している。

また佐々木は、大本營より二度まで戦死を公表されている。そして十二月十三日には感状を授与され、同十二年一月二十二日には上陣に選んでいる。

しかし、第四航空軍は生還している佐々木の戦死公表をとも消さず、猿渡という参謀長などは、しばしば佐々木伍長をよんで叱りつけた。

「佐々木、おまえは死んだんじゃないか」

「おまえは、死なねばならんことを、よく言いかけたはずだ」

その上、二十年一月下旬にはひそかに佐々木伍長戦死の命令がくだされていた、と言われている。佐々木は銚田飛行学校における機体の攻撃を受け、撃墜された。

優秀16ミリ映画無料貸出し

お問い合わせは毎日新聞社事業部へ

〒100 東京都千代田区一ツ橋 TEL 03 (213) 2696

大地に刻む歴史

—電源開発会社の歩み—
カラー 30分
電源開発株式会社

警察庁監修
セーフティテクニック
—安全運転シリーズ—
カラー 22分
ホンダ安全運転普及本部

はがねと人と

カラー 30分
日本鋼管株式会社

第9回日本産業映画奨励賞
即席ラレーメン
カラー 19分
社団法人 日本即席食品工業協会

アンデスと太陽とインカ

—スバル4,000キロドライブ—
カラー 28分
富士重工業株式会社

文部省選定 原油を運ぶ

カラー 40分
日本石油株式会社

たて規模協
て大備術
の電へ内
な送動
行な活
で見諸
奥所海
これ間、電
佐久水、水
当社が、水
の力

い本画高
て基映て
の乗のす
にた指画
パイの指
オート運
オ全クリ
オ安ッよ
にク各庁
する方テ
で方テ係
する方テ

部門のら
三部中の
の動の代
船舶活7
の動の代
船舶活7
の動の代

しれよれ
とまのれ
花親どや
のにがつ
品大率の
食あ席的
トびラ能
ンアび席
スタあ席
イン脚光
イテてて

念れか
記派の
を地派の
100隊中
交回イ子
ル常善天
ベンイ親
日本、に
日、に隊

輸に第
が本界も
どす。日
んまに世
ほい量き
は、わ、
油な全カ
なまをタ
貴重でれ
賞入こ運

大尉の塔乗機は特攻専用で改装された九九式双座で、交戦能力はない。しかも、単機連絡飛行中のできごとであった。

またこのとき同時に戦死したのは万彥隊の将校で、三名。いずれも気銃の若者で、これで万彥隊は一挙に操縦学校の全員を失った。

「食事がおかわると、岩本大尉はいつもの顔になって、

「今度は、五十三期から隊長が出る。おれが出るかどうかわからないが、あしたは帰らないうちと思ってくれ」

和子も、平静になって聞くと、

「この、わかってはいます。何もい

「和子は急に涙がこみあげてきた。あわてて立上って台所に行った。涙があふれるように流れ

「さうか。それなら、止めようね……」

和子は急に涙がこみあげてきた。あわてて立上って台所に行った。涙があふれるように流れ

短結婚生活だったが、本心に
か信じて、愛しあっていた、と言
いたいのでしょう。今更なにも
わなで、とびつごととど、著者
は認めている。

この日は奇しくも、岩本大尉の結婚記念日でもあった。岩本はいつになく足もとが乱れるほど酔って帰宅した。和子は愛の数をたいて、夫の帰りを待っていた。

岩本大尉戦死の前日、十一月四日の和子夫人の日記には、こう書かれていた。

「あれもこれも、お話ししようと
思うことはあります。……(中
略)……一日ずつせば、お目にか
かれる日が、それだけ近づい

「二一号機が十月十八日に発令され、これにより特攻隊の編成命令が銚田に下されたのは、十月二十日であった。

この夜の岩本夫妻のよすがを、陸軍特別攻撃隊の若輩高木俊助はつぎのように書いています。

大尉は、静かにお茶をのみ、

「おれたちはな……」と、いひかけた。和子は、すすきささ

「わかってはいます。何もいわないで、それなら、止めようね……」

和子は急に涙がこみあげてきた。あわてて立上って台所に行った。涙があふれるように流れ

「あれもこれも、お話ししようと
思うことはあります。……(中
略)……一日ずつせば、お目にか
かれる日が、それだけ近づい

著者の註には、和子は次男に、
夫が生還することを望み、夢想
するうちに死んでいった、とある。
夫人の心算は、与謝野晶子の名
詩「吾死したるもつとどなれ」
に通じていたようだ。

曝露のかけに伏して泣く
あえかにわかき新妻を
君わするるか 思えるや
十月も添わられたる
……(三行略)……

「吾死したるもつとどなれ」
(筆者は元糸魚川市公民館
長・岩梅市在住)

あとがき

本紙は、表紙に「空手」の写真が出たり、八面には「特攻隊メモ」もあるという、いわば八方破れの編纂方針のようにも思われているようですが、これは「社会教育員」という一種のシラミを抜くためのミニミニとトウガラシのようなものと理解していただければよいと思えます。

私たちは、社会のうごきや自然現象のうつりかわりなど、すべての事象に好奇心しながら、その中から生きていくための何かをつかみとってゆくことができれば、それだけの価値はないかと考えています。

(本)